

1つの研究テーマをどこまで掘り下げて研究を推し進めるかということは、研究の質にかかわる重要なことだと思います。深く掘り下げるために、異なる専門領域の研究者と共同研究を進めることも増えてきたと思います。最近では、IT技術の進歩とユーザーへの浸透によって研究者間での情報共有が格段に行い易くなり、結果として学外との共同研究が行いやすくなっています。それでも、学外との共同研究となるとハードルが高い場合もありますので、学内での共同研究を推し進めることができれば、研究が進みやすいこととなります。本学では、全学研究ポスターワークショップ、全学横断的シンポジウム、学内研究助成成果発表会などをおして、各先生方の研究や専門領域を知る機会が年々増えてきています。しかし実際には、毎年の教員の入れ替わりもあるため、「隣の先生」は何を専門として、どんな技術と知識を持っているのだろうか？」と知っている教員が多いのではないかと推察しています。「彼を知り己を知れば百戦殆からず」のように、お互いを良く知っていれば、学内共同研究がもっと増えて、学内での研究がもっと進むのではないかと考えています。

前置きが長くなりましたが、本誌編集委員会では、大学の機関誌として本学の研究推進に寄与するための1つの施策として、“隣の先生”を知ってもらうための情報発信も進めています。1つは、今号の記事にあります「学内研究助成成果報告書」の掲載であります。更に今号から総説として、教授の先生を中心に、各先生の研究を紹介してもらうことも始めました。最初は、編集委員長岡田成賛先生の総説となります。今後も、“隣の先生”を知ってもらうための情報を積極的に発信していくこととなりますので、学内共同研究のさらなる推進のきっかけとなれば幸いです。

最後になりますが、ご投稿いただいた著者の皆様、お忙しい中査読いただいた先生方、編集いただいた編集委員会委員と図書館司書の方々に深謝申し上げます。

明治国際医療大学誌編集委員会
副委員長 林 知也

明治国際医療大学誌編集委員会

岡田 成賛, 林 知也, 糸井 マナミ, 智原 栄一, 鶴 浩幸,
田口 玲奈, 奥田 正作, 木村 隆彦, 千田 いずみ, 小西 奈美

編集事務局

629-0392 京都府南丹市日吉町 明治国際医療大学附属図書館内

E-mail: uni_libr@meiji-u.ac.jp

明治国際医療大学誌 第32号 (2024)

編集・発行 明治国際医療大学誌編集委員会

発行日 令和7年3月31日

印刷 株式会社グラフィック
